



第64回日臨技近畿支部医学検査学会が盛会のうちに終了しました

Next Challenge 変動する時代への適応と深化 同時開催 第66回日本臨床検査医学会近畿支部総会
第44回日本衛生検査所協会近畿支部学術研究発表会

令和7年度 日臨技近畿支部医学検査学会 第64回



このたび、令和7年度 日臨技近畿支部医学検査学会（第64回）を、11月22日（土）、23日（日）の二日間、国立京都国際会館にて開催いたしました。本学会は「**Next Challenge ～変動する時代への適応と深化～**」をテーマに掲げ開催いたしました。また、今回も第66回日本臨床検査医学会近畿支部総会および第44回日本衛生検査所協会近畿支部学術研究発表との同時開催という形で行いました。

特別講演では「京大病院にAIを入れてみた」（黒田 知宏 先生／京都大学医学部附属病院）、「iPS細胞を用いた輸血製剤製造開発の現状」（江藤 浩之 先生／京都大学iPS細胞研究所）の2演題をいただき最先端のお話を伺うことができました。文化講演では「家康と二条城」（梅林 秀行 氏／京都高低差崖会）のお話をいただき京都の歴史の一端を感じることができました。また、基調講演として「今が旬・・・臨床検査次のステージへ」という演題で日本臨床衛生検査技師会の横地 常広 会長より講演をいただき、現在の医療情勢や今後の臨床検査技師の可能性など多岐にわたるお話をいただきました。その他にも、多数の一般演題、教育講演、シンポジウム、若手技師・学生向け企画、さらには共催企業によるランチオンセミナーなど、幅広いプログラムを展開できました。また、人口の減少に伴い献血者の減少が危惧されている中、会場では献血も行いました。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。

学会期間の両日とも天気が良く、多数の参加者に来場いただき各会場では立ち見が出る会場も多数あり、活発な意見交換も行われ大変充実した学会になったと感じられました。

最後になりますが、本学会の開催にあたり、ご尽力いただいた実行委員長、副実行委員長、事務局長はじめ実行委員の皆様、研究班等の実務委員の皆様、協賛企業様、事務局を引き受けてくださった日本旅行様、そしてご参加いただいた会員の皆様に心より御礼申し上げます。



変動する医療環境の中、「**Next Challenge**」を合言葉に、今後も共に前進してまいりましょう。

～ 学会フォトギャラリー ～



会長挨拶



開会式



特別講演



教育講演



企業展示



スタンプラリー



メディカルカー



文化講演



一般演題



中高生支援ガイダンス



学生フォーラム



献血ブース



京臨技Instagram

次は
京都医学検査学会！



参加お待ちしております

<https://kamt.jp>

会員専用ページ：ID kamt PW kyoringi

ご意見等は、京臨技ホームページの
トップページ最下部「お問合せフォーム」ボタンから

発行所 (一社)京都府臨床検査技師会

発行責任者・編集者：江口 光徳

編集者：藤原 麻有, 齊藤 祐巳子, 相田 幸雄, 増田 健太, 白波瀬 浩幸
〒606-8155京都市上京区千本竹屋町東入ル主税町910番地

会員専用ページの
IDとPWは
全会員共通です